



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



京都市保健福祉局
健康長寿のまち・京都推進室
健康長寿企画課
TEL 222-3424

「World Diabetes Day (世界糖尿病デー)」に合わせて
各施設をブルーにライトアップします！！

京都市では、市民の皆様には糖尿病への正しい理解を呼びかけるため、国連の定める11月14日の「World Diabetes Day (世界糖尿病デー)」に合わせて、各施設をシンボルカラーであるブルーにライトアップします。

1 点灯日時

令和6年11月14日(木) 午後6時～10時

※施設により点灯時間が前後することがあります。

2 点灯場所

京都市役所本庁舎、京都市京セラ美術館、伏見桃山城 ほか



京都市京セラ美術館



伏見桃山城

(参考：他のライトアップ実施施設)

点灯場所	点灯日時 (予定)
京都府庁旧本館	令和6年11月14日(木) 午後6時～10時
京都済生会病院	
京都府中丹東保健所	
五老スカイタワー	
福知山城	同日 日没後～午後10時
亀岡平和公園平和の塔	
亀岡運動公園のテニスコート側の噴水	同日 午後5時～9時
亀岡保津大橋	同日 午後5時～10時
綾部市立病院	同日 午後5時～7時
JR八木駅	同日 午後6時～8時

3 「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」関連事業 糖尿病対策講座

- (1) 日 時 令和6年11月10日（日） 午後2時～4時
- (2) 場 所 京都府医師会館310会議室（オンライン併用）
（〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6）
- (3) 内 容 講演・シンポジウム
テーマ 『活き活きライフ実現に向けダイアベティス（糖尿病）をもっとよく知ろう！』
講演① 京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 教授
矢部 大介氏
講演② 看護師 杉島 訓子氏
薬剤師 川島 裕明氏
検査技師 原 健介氏
歯科医師 吉川 洋史氏
- (4) 申込み 京都府医師会の特設ウェブページから。参加無料

(<https://www.kyoto.med.or.jp/member/diabetic/wdd2024/index.html>)



※FAXでの申込みの場合は、名前・参加方法（来館もしくはオンライン）・住所・電話番号・メールアドレスを記載の上、講座事務局 FAX（075-275-2399）まで御送信ください。

World Diabetes Day（世界糖尿病デー）とは

世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために、2006年12月20日、国連は国連総会議で、国際糖尿病連合（IDF）が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決し、同時に、IDF及び世界保健機関（WHO）が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。

今年度から、糖尿病アドボカシー活動の一環として、世界糖尿病デーの表記をWorld Diabetes Day（WDD）と改めることとなりました。

WDDのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられますが、これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンが推進されています。

なお、11月14日は、1921年に世界で初めてインスリンの抽出に成功したカナダの医師であるフレディック・バンティングの誕生日にあたります。